



みやま 真理子
宮田 真理子



南三陸町

問 6月の末に都合がついた議員で3・11の被災地である南三陸町、石巻市、東松島市を視察してまいりました。荒地、腐敗臭、瓦礫、言葉に表せない

ほど、悲惨な状況でした。復興には、相当な年月がかかることでしょう。

湯沢町は、中越地震や、3・11でもそう大きな被害がなく、よかつたと感じています。しかしながら、もし湯沢に想像もできない程の災害が起こったらどうでしょうか。

南三陸の危機管理課の女性職員の遠藤美希さんが波にのまれるまで、町民に危険を知らせるアナウンスをしていらつしやいました。

湯沢町には、その危険を知らせるシステムがないのです。湯沢町には、112箇所の土砂災害危険箇所があり、内65箇所が土砂災害防止法に基づき土砂災害警戒区域に指定されています。また、その内52箇所が特別警戒区域です。防災ネットワークシステムを

導入することで、町民に、速やかに危険を知らせる事ができ、また、ピンポイントで危険地域に知らせる事ができる様になります。

サイレンだけでは、事がたりません。情報不足に町民は右往左往するのです。

携帯電話のエリアメールも、お年寄り等携帯電話を持たない人には何の役にもたちません。町民の生命を守る事が町長のお役目かと思えます。危機管理についての現状と、今後の手立てを伺います。

答 湯沢は今回の台風12号で起こつたような災害が、予想されるのではないかと思つています。また、それ以上のが起こつたら厳しいなと思つています。災害に関する事前の情報、危険地域に対して周知、避難等に必要な備蓄

品等が必要であります。

大規模な災害の周知手法の整備については、これはと言ひ切れぬ所でありまふ。ハザードマップを、町民の皆様認識して頂いて、早いうちに避難訓練をしなくてはいけないと考へています。

自主防災組織の訓練等の整備、役場組織の災害対応の訓練が必要であると考えています。

今の状況のなかで、現実的に住民に情報が伝わらないというのは確かであります。エリアメー

ルで斉配信できるようになりまふし、24年3月にはa u、ソフトバンク、も追従するということだそうです。

町民の生命を守ることが私の仕事であり、役場職員の仕事だと充分認識しています。

資料を(防災ネットワークシステム)いただいたうえで、前向きに検討いたします。



問 町民の安心安全を守るために、防災ネットワークシステムの整備を

答

資料をもらったうえで、前向きに検討する